

議会傍聴

神谷則子

川南の議場がどこにあるのか？ご存知ですか？私は、ここ数年議会の傍聴に顔を出している傍聴席初心者マークです。

川南の住人になって25年になるというのに、自分の住む川南がどんな人達の手に委ねられ、どんな議会が行われているのか、あまり気にせず生活していたようです。

さて、議場がどこにあるのか？それを知ったのは「ほんの数年前の事です。傍聴席入口と議場入口のドアを間違えそうになります。(ぜひ改善を：ドアにも直接揭示してもいいのでは?) 満席になっても30名程の小ぢんまりとした傍聴席。そこから垣間見る、議員や町職員の動作(しぐさ)もおもしろいものですよ。貴方たち見られています！と心の声がささやきます。私達の代表である議員さんと議会に関心を持つ事は、有権者の私達にできるささやかな、町政参加の一つでもあるような気がします。時間の設定等

は、働く世代には、足が遠のいてしまう場所ですが、まだ一度も：という貴方、ぜひ、傍聴デビューしてみてください！

町民(有権者)の視線を議会(議員)が感じる事によって、注目されてる議員さんたちを生かすも殺すも私達次第です。「議員はだれがやっても変わり映えない」ではなく、私達町民が、投じた一票がどう生かされるか。私の選んだ議員は、公約通りの仕事をしているのか、それを知る唯一の場でもあります。傍聴者が後をたたない！そんな光景が見られる日が来ないのかな？

私の様に有権者になっても、議場がどこにあるのか知らない！という事にならない様に：

小学校や中学校の見学コースに組み込み傍聴を経験させてみるのも良いかも知れません。若い世代に政治に関心を持たせることが、大人の責任では？

末端行政組織再編とは何？

案

川南町では、これまで振興班が行政連絡や公民館活動(分館活動、振興班活動)を行ってきましたが、振興班未加入世帯(個人)が3割以上になり、行政連絡の面で問題が生じてきたため、末端行政組織の再編の検討をすすめています。

行政連絡の組織は小学校区を基本とし、109の行政連絡班に行政連絡員をおき、全戸に文書を配布します。区長、行政連絡員は非常勤の特別職になり、手当が支給されます。

公民館活動では、振興班活動は今までどおり継続しますが、行事なども見直しを行っていく必要があると考えています。詳細については、これから区長兼分館長の意見を伺いながら、検討していきます。

再編の原因になった振興班未加入世帯(個人)について、行政連絡の面では全戸に連絡員が文書等を配布するという事で解決できますが、公民館活動については振興班単位ですので未加入世帯の参加を増やす事は難しいと思いますし、今回の再編案では、逆に振興班のつながりをなくしてしまうのではないかと懸念されます。

少子高齢化で、今まで以上に地域のつながりが求められてきますので、実施するに当たっては今まで培われてきた地域のつながりが壊れることなく、それ以上に新たなつながりができるような組織をつくる為に住民の意見を伺いながら、議会としても提案していきたいと思えます。皆様のご意見をお寄せ下さい。

編集後記

目に青葉の季節、景気が悪いいと人間は嘆いていても、春は変わらぬめぐって来ました。議会も丸2年が過ぎ、議長、副議長、常任委員会の委員の交代など、新たな構成での再スタートになります。町では行財政改革が進められています。議会も改革に取り組み、そのひとつとして、前回から議員個人の議案賛否表を掲載しております。今後も議会の役割を十分に認識し、改革に取り組んでまいります。ご意見をお寄せ下さい。

現編集委員としては、今回で最後になりました。つたない議会広報紙をご愛読いただきありがとうございます。

編集委員長 黒木 則人
副委員長 米山 知子
委員 竹本 修
委員 内藤 逸子
委員 長野 義勝
委員 林田 幸雄

No.84
2009.5.7

編集・発行
宮崎県川南町議会
宮崎県児湯郡川南町13680-1
TEL(0983)27-8017
発行者/川南町議会議長
編集者/議会広報編集委員
印刷所/(有)アックプリント